



サンバー限定モデル計画、始動。③

長い歴史を誇る実車とミニカー・ブランドのコラボレーションとは？



全国のスバル・サンバー・ファンの皆さん、お元気ですか。さてさて。皆さんもご存知の通り、かのスバル360のDNAを色濃く受け継いで来た国産軽商用車の雄、スバル・サンバーがいよいよ今月でその生産を終了します。個人的には、かつてミニヤビートルが生産終了となった時と同様、その国を代

表する長寿モデルが無くなるということに一抹の寂しさを禁じ得ませんが、こうなるといよいよ、そのミニカーなりプラモデルなり、何らかのミニチュア・モデルを自らの手元に置く事で記憶のよすがとしたい——そう考えるのはクルマ好きにして模型ファンである我々としては必定でありましょう。

そんな気持ちに对应してくれる存在が、昨年来から発売され好評を博しているお馴染みダイヤベットの現行サンバーの1/36ミニカーであります。いくつかのバリエーションが用意された中でも特に注目なのが、限定1,000台のみ用意され近日発売予定の"サンバーWR BLUE LIMITED"であります。実車と異なりバンは用意されず、ボディ・バリエーションはトラックだけですが、今月ご紹介しているのは都内の商談会でブースに展示された試作モデルとそのパッケージの見本。気になる発売時期と価格ですが、現時点では4月予定／予価¥5,250(税込)とアナウンスされています。しかし既に予約だけでも完売状態?? という噂もあるようなので、確実に入手を希望される方は、ダイヤベットの扱っているショップ等をこまめにチェックしてみるのもいいかもしれません。また、本誌としましてはその詳細や確実に入手出来る方法等を、引き続きお伝えしていく予定です。



上は、通常製品と比べシックでオトナっぽい、限定モデルのパッケージ(まだ試作)。



左はモデル・カズ別冊「はたらくクルマ コマmercial・ビークル」。巻頭はサンバーの歴史が一目瞭然の大特集。お求めは全国書店または弊社営業部まで。定価¥2,000(税込)